

●Orangutan オランウータンとは？Q&A

オランウータンは類人猿の一種。マレー語で「森の人」を意味します。オランウータンは、人間活動により熱帯雨林を破壊されて困っています。絶滅の危機に瀕しています。野生のオランウータンは、現在はインドネシアとマレーシアのボルネオ島とスマトラ島にしかいません。

●オランウータンと人間はどれくらい近いの？～DNAは2%の違いだけ～

オランウータンは、人間と類人猿の共通の祖先(ホミニッド)から、800万年～1200万年前に分かれました。オランウータンと人間は、98%同じ遺伝子を持っています。

●オランウータンは人間と似ているの？

オランウータンは、人間と似通ったたくさんの特徴を持っています。

例えば、メスの妊娠期間は8.5ヶ月と長く、コドモは長い間母親に依存しなければなりません。

コドモの依存期間は、人間に次いで2番目に長いことが知られています。

さらに、チンパンジー、ゴリラなどの他の大型類人猿は両手のこぶしを地面について移動しますが(これはナックル・ウォークと呼ばれます)、オランウータンは人間の幼児のように、手のひらをついて移動します。

●オランウータンの学名は？

オランウータンには、ボルネオ島に生息するポンゴ・ピグマエウス(*Pongo pygmaeus*)とスマトラ島に棲むポンゴ・アベリイ(*Pongo abelii*)の2つの亜種があります。

また、オランウータンはポンギダエ(*Pongidae*)という大型類人猿の科に分類されます。

●オランウータンはどんな「見かけ」をしているの？

オランウータンは、世界最大の樹上で生活する哺乳類で、赤茶色の毛で覆われています。

体は樹上生活によく適応していますが、地上でもかなり早く動き回ることができます。

長い腕と指を持ち、足は手のように物をつかむことができます。

肩と腰の関節は自由自在に動き、足をほとんど全ての方向に動かすことができます。

オランウータンは性差が大きく、オスはメスよりもずっと大きな体をしています。

●メスはどんな見かけをしているの？

メスは、体長1m、体重40kgくらいまで成長します。

●オスはどんな見かけをしているの？

オスは、体長1.5m、体重は120kgまで成長することがあります。

その重い体のため、オスはメスよりも頻繁に地上を移動します。

また、オスは性成熟すると、「頬だこ」と「のどの共鳴袋」を発達します。

頬だこはゆっくりと成長し、性的に成熟した後でも大きくなり続けることもあります。頬だこを持った優位のオスが近くにいると、劣位の若いオスは頬だこの発達を妨げられることも知られています。

●オランウータンはいつオトナになるの？

オランウータンは約8才で性成熟に達し、コドモをつくり始めるのは15才くらいになってからです。

●オランウータンの寿命はどれくらい？

オランウータンの寿命は、野生下で35～40才くらいです。動物園など飼育下では、50才代まで生きる。

●メスはいつからコドモを産み始めるの？また、どれくらいの間隔でコドモを産むの？

野生のメスのオランウータンは、13～16才で最初のコドモを産みます。

メスの出産間隔は約8年で、これはゴリラの4～5年、チンパンジーの6年よりも長くなっています。

そのため、オランウータンの繁殖率はとても低いのです。

メスは一生かけて運がよければ4頭のコドモを育てますが、多くの場合は2頭しか育てられません。

●オランウータンのコドモはどれくらい母親に頼っているの？



オランウータンは7から8才になるまで母親と一緒に暮らし、8～9才で親元を離れます。

コドモは生まれてからの5年間、特に母親に依存し、母親と強い絆を築きます。

●オランウータンは何を食べるの？

オランウータンは400種もの食物を食べます。食物の構成は、イチジク、ドリアンなどの果物、葉、木の皮、花、つる、ナッツなどの植物、ハチミツ、昆虫などです。稀に小さな哺乳類や土を食べることもあります。

●オランウータンはどこで寝るの？

オランウータンは、樹の上に毎日新しい巣を作って眠ります。

●オランウータンはどのくらい頭がいいの？

オランウータンは、とても賢い動物です。

彼らは実をつけた樹がどこにあるか(空間の記憶)、また実がいつなるのか(時間の記憶)を覚えているようです。

オランウータンは熟練した道具使用者でもあります。

例えば、葉を噛んでスポンジを作り、樹の穴に溜まった水を吸ったり、大きな葉を傘代わりにしたり、昆虫やハチミツを採集するときに枝を道具として使ったりします。枝はこの他にも、蜂から体を守る、果物やほかの枝をたぐり寄せ、体を搔くなど様々な用途に使われます。また、大きな葉をポンチョのようにして使っているのも観察されています。オランウータンは、模倣、因果関係の理解、抑制などの認知実験でも優れた能力を示しています。



◆オランウータンはどれくらい社会的なの？

オランウータンは他の大型類人猿と比べて、単独で生活することが多いと考えられており、大きな社会集団や家族の集団を作りません。オトナのオスはふつう単独で生活し、オトナのメスはコドモと一緒に生活しています。

●オランウータンはどんな集団をつくるの？

野生では、4つのタイプの社会集団が観察されています。

1つ目は母子のペア、2つ目はメスが発情中に形成されるオスとメスの一時的なペアです。

3つ目のグループは、トラベリング・バンドと呼ばれる移動集団で、このグループは採食と移動を共に行います。

4番目のグループは、イチジクなどの樹で見られる一時的な採食の集団です。

移動集団と採食集団には、血縁関係にない個体どうしが含まれることもあります。

●社会集団のタイプは何で決まるの？

社会集団のタイプは、食物がどれだけあるか、どのような森に住んでいるかなどの生息環境で決まっているようです。

例えば、ボルネオ島の高地の山岳地帯では、それぞれのオトナのオスが大きな遊動域を持っており、これが複数のメスの遊動域を包括する形になっています。

一方、スマトラ島の湿地帯では、オランウータンは比較的社会的で、10頭以上のオトナがひとつの樹上で採食することもあります。移動集団もこの地域で観察されています。



●野生のオランウータンはどれくらい残っているの？

野生のオランウータンは、1900年には31万5千頭、1980年代には8万頭、1990年代中頃には2万頭いたと推定されていますが、現存数はこれよりもずっと少ないと考えられています。

ある研究者は1万4千頭、またある研究者は1万5千頭から2万5千頭と見積もっています。

オランウータンは絶滅危惧種に指定されており、特にスマトラオランウータンは絶滅の危機にあります。毎年2千頭もの野生のオランウータンが消えているとも言われています。

●なにがオランウータンにとって脅威になっているの？

オランウータンにとって最も深刻な脅威は、彼らの住む熱帯雨林は材木や紙の原料のパルプとして伐採されています。また、ヤシ油のプランテーションや金鉱を開発するためにも、森林は伐採されます。不法な森林の伐採、農地・プランテーションの開発などは後を断ちませし、森林火災も生息地減少のもう1つの原因となっています。